

厚生労働科学研究費補助金

健康科学総合研究事業

健康日本21・歯の健康における健康指標の開発と

その評価に関する研究

平成14年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 宮武 光吉

平成15年4月

目 次

I. 総括研究報告

健康日本21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究	1
宮武 光吉	

II. 分担研究報告

1 地域歯科保健計画の収集及び項目・内容の分析	3
末高 武彦	
(資料) 健康日本21・市区計画「歯の健康」目標リスト (策定市・区のみ)	
2. 地域歯科保健計画評価指標の開発	20
安井 利一	
3. 開発した地域歯科保健計画指標の適合性の評価	24
尾崎 哲則	
4. 地域歯科保健計画目標の到達可能性の推計	29
青山 旬	

総括研究報告書

健康日本21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究

主任研究者 宮武 光吉 (鶴見大学歯学部客員教授)

研究要旨： 健康日本21・歯の健康についての地方計画の内容・目標等を調査・分析し、その結果に基づいて、地域歯科保健計画の評価指標を開発した。また、これを用いて地方計画の達成度や到達可能性について検討し、評価指標の有用性を明らかにした。

分担研究者

末高武彦 日本歯科大学新潟歯学部教授
安井利一 明海大学歯学部教授
尾崎哲則 日本大学歯学部教授
青山 旬 国立保健医療科学院口腔保健部
主任研究官

A. 目的

健康日本21計画に基づいて策定された都道府県、政令指定都市、および特別区の地方計画について、「歯の健康」を中心に、その内容、目標等を調査し、これらを比較検討するとともに、その結果により地域における歯科保健計画の評価指標を開発する。また、開発された評価指標を用いて計画の到達度やその可能性を検討することを目的として本研究を実施した。

B. 方法

- 1) 各都道府県ならびに計画を策定済みの政令指定都市および特別区から公表された地方計画を入手してこれらの項目・内容について分析を行った。
- 2) 地方計画に基づいて地域歯科保健計画の評価を行うための指標を開発した。
- 3) 地域歯科保健計画の評価指標を用いて、いくつかの都道府県等の地方計画の評価を実施し、指標の適合性を検討した。
- 4) 地方計画の中間評価を実施するに当たり、その達成可能性についての推計を行った。

C. 結果

- 1) 都道府県の地方計画においては「歯の健康」の項目はすべての都道府県で記載されているが、その項目・内容は多様であり、項目数も3から51と差異が

あり、また、同じ項目であっても内容や目標値に相違点が多く見られることが明らかにされた。

- 2) 地方計画の評価手法には、(1)目標の達成度、(2)計画策定のプロセス、(3)推進のための活動状況などが挙げられる。(1)については目標の項目ごとに重要度を勘案することが指標を開発する上でも有用と考え、都道府県ごとに採用項目の頻度、研究者による優先順位を例示した。(2)については、特に「歯の健康」についての計画策定方法を明らかにした。これらを統合して評価指標(案)を作成した。

- 3) 開発された評価指標を用いて、入手できた地方計画から策定委員における歯科保健専門職種の有無に関して分析を実施し、研究者の優先順位との関連を示し、適合性の高い評価指標を明らかにした。

- 4) 当初の地方計画が策定された時点から目標値と現状値等を比較することにより、中間評価年における目標値の達成可能性についての推計を行った結果、可能性の高い項目が明らかにされた。

D. 考察

- 1) 都道府県等の地方計画の、比較検討のためには、同じ項目について基準値、目標値などの数値を示して評価を行うことが必要と考えられた。

- 2) 地方計画においては、目標値ごとの達成度とともに目標項目ごとの重要度を合わせて示すことが必要と思われる。地方計画に基づく活動状況についての評価は困難であった。

- 3) 開発した評価指標を用いて評価を行うことは可能であることが明らかにされた。

- 4) 地方計画において、達成可能性の低い目標項目については、その原因を明らかにして対策を検討することが必要であると考えられた。

大内 章嗣 (新潟大学歯学部講師)

市川裕美子 (日本大学歯学部助手)

E. 結論

地方計画においては歯の健康の項目・内容は多様であり、項目数の違いや内容の相違点が多く見られた。評価手法としては、(1)目標の達成度、(2)計画策定のプロセス、(3)推進のための活動状況などが挙げられる。重要度を勘案することが指標を開発する上でも有用と考え、優先順位を例示した。また、「歯の健康」についての計画策定方法を明らかにした。これらの評価指標を用いていくらかの地方計画の評価を実施し、適合性の高い評価指標を明らかにした。さらに、目標値の達成可能性についての推計を行った結果、可能性の高い項目が明らかとなった。

F. 健康危険情報

なし

G. 発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

青山 旬, 軽部裕代, 福田雅臣, 尾崎哲則, 安井利一, 宮武光吉. 健康日本 21・歯の健康の地方計画における目標及び評価指標について. 口腔衛生学会雑誌: 52(4); 354-355, 2002.

青山 旬, 尾崎哲則, 軽部裕代, 福田雅臣, 安井利一, 宮武光吉. 歯科疾患実態調査, 保健福祉動向調査(歯科保健) および地域の歯科診療所患者調査による 20 歯以上保有率の比較. 日本公衆衛生雑誌: 49(10 特別号); 201, 2002.

安井利一, 青山 旬, 軽部裕代, 福田雅臣, 尾崎哲則, 宮武光吉. 健康日本 21・歯の健康の地方計画における成人・老人歯科保健項目及び内容の分析. 日本公衆衛生雑誌: 49(10 特別号); 278, 2002.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

I. 研究協力者

福田 雅臣 (日本歯科大学歯学部助教授)

小松崎 明 (日本歯科大学新潟歯学部講師)

総括研究報告書

健康日本 21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究

地域歯科保健計画の項目・内容分析

分担研究者 末高 武彦（日本歯科大学新潟歯学部教授）

研究要旨：都道府県が策定した健康日本 21 地方計画における歯の健康の項目を、国の設定した項目毎にまとめ、現状値、目標値、およびその差について評価を行った。健康指標についてはかなりの都道府県で記載され、リスク低減目標についてはそれに比較して少ないが、項目によっては比較や全国推計が可能と思われた。しかしながら、調査方法によっては、選択バイアスの問題や、未記入が多いことによる問題点があると推察された。保健所を設置する市・特別区の計画は、現時点で未発表のものも多く、さらに収集する必要がある。

A. 目的

我々は、健康日本 21・歯の健康に関する地方計画を収集し、概略については昨年報告した。そこで、本年は、国の設定した健康指標目標およびリスク低減目標の項目毎に、都道府県の設定状況、現状値と目標値の分布とその差について比較検討することを目的として、本研究を行った。

B. 対象と方法

健康日本 21 の都道府県地方計画から、国の健康指標目標およびリスク低減目標についての現状値と目標値およびその差について分析した。また、保健所を設置する市・特別区の地域計画がまとめられているものの一部を入手し、その項目を記述した。

C. 結果

国の設定した健康指標目標とリスク低減目標の項目毎に、地方計画の現状値、目標値、その差を一枚ずつの評価表を作成した。80 歳で 20 歯以上の歯の保有割合(8020 者割合)については、現状値が国のものより高

いところが多かった(表 1)。しかし、60 歳で 24 歯以上保有する割合については逆に低い値を示すものが多くなっていた(表 2)。3 歳児および 12 歳児のう蝕については、記載されていることがほとんどであり、現状は、3 歳児では高い(悪い)ものが多く(表 3)、12 歳では高いものと低いものがほぼ同じであった(表 4)。目標については、いずれも国の値に一致するものが最も多かった。40 歳での進行した歯周炎に罹患している者の割合は高いが(表 5)、50 歳では国の値を挟んでほぼ同じ数になっていた(表 6)。目標の設定は、国と同様に 30% 減としているため、現状値と同様の傾向を示した。

リスク低減目標については、健康指標より記述が少ないが、歯の喪失防止に関する 2 項目では国の現状を挟んでほぼ同数に分布していた(表 7, 8)。しかし、目標値は国より高いものが多かった。フッ化物の歯面塗布の経験の現状値は国より低いものが多かったが、目標値は国と同じとしたものが多かった(表 9)。甘味食品摂取は国の目

標値が示されていないためか、地方計画での記述が少ないが、現状値は参考値の29.9%に比較的近い30%代が多かった(票10)。学童期のフッ化物配合歯磨剤の使用割合の現状値は、13.9%から71.0%と、ばらつきが大きく、現状値と目標値との差も大きくなっていた(表11)。学童期の個別歯垢清掃指導を受けた者の割合についても記述が少なかったが、現状値は国より大きい、目標値は一致するものが多かった。成人での歯間清掃用器具の使用は、国の結果より低いものが多いが、目標値は国と一致するものが多かった(表13,14)。

収集できた政令指定都市、中核市、その他保健所を設置する市、特別区の情報から、一覧表にした。

D. 考察

8020者割合の現状値の調査法は、昨年の報告で一部を分析したが、歯科診療所に来所した患者によるもの、抽出された住民を対象として歯科健診を地域で行うもの、歯科診療所に来院してもらって検診を行うもの、アンケートに自己申告で記入するものなどが見られた。そのため、地域によるさよにも、選択バイアス等が考えられ、得られたデータに大きな開きがあることが考えられた。6024についても同様の傾向が考えられた。さらに、歯科診療所でのデータ収集では昨年度の報告でも示してあるが、同様に選択バイアスの可能性が考えられた。

リスク低減目標でも、フッ化物配合歯磨剤については、現状で大きな差がみられたが、これについても地域差であるよりも、未把握が多いために起こる可能性が考えられた。調査方法について、さらに詳しく分

析する必要があると思われる。幼児における間食の1日3回以上の摂取状況については、別の指標を用いた場合もあったが、ある程度の情報が得られており、全国値に準ずる数値が算定可能であると思われる。

収集できた政令指定都市、中核市、その他保健所を設置する市、特別区については、今後、収集を継続し、分析を行う予定である。

E. 結論

都道府県が策定した健康日本21地方計画における歯の健康の項目を、国の設定した項目毎にまとめ、現状値、目標値、およびその差について評価を行った。その結果、健康指標目標については、多くの都道府県で記述されており、その比較や、積み上げによる全国値の推計も可能であると思われた。また、リスク低減目標については、記述されていることが少ないが、項目によっては比較等が行えるものもみられた。

しかし、調査方法による違いのため、地域差以外にも現状値、目標値に影響を与えている可能性が推察された。さらに、調査方法によって未把握が多い場合にも、現状値に影響を及ぼす可能性も考えられた。しかしながら、幼児の間食回数1日3回以上については、いくつかの県で記述されており、全国値の推計が可能と思われた。保健所を設置する市・特別区の情報も収集を始めたが、設定年度が広範にわたっており、今後策定の者も多いため一覧表の作成のみに留めた。

F. 健康危険情報

なし

G. 発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

青山 旬，軽部裕代，福田雅臣，尾崎哲則，安井利一，宮武光吉．健康日本 21・歯の健康の地方計画における目標及び評価指標について．口腔衛生学会雑誌：52(4)；354-355，2002.

青山 旬，尾崎哲則，軽部裕代，福田雅臣，安井利一，宮武光吉．歯科疾患実態調査，保健福祉動向調査（歯科保健）および地域の歯科診療所患者調査による 20 歯以上保有率の比較．日本公衆衛生雑誌：49(10 特別号)；201，2002.

安井利一，青山 旬，軽部裕代，福田雅臣，尾崎哲則，宮武光吉．健康日本 21・歯の健康の地方計画における成人・老人歯科保健項目及び内容の分析．日本公衆衛生雑誌：49(10 特別号)；278，2002.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 地方計画における「80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合」の現状値および目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	11.5% (1993年)	20%以上	富山	23.3% (1999年)	30%以上	島根	1.9本 (1990年)	12本以上
北海道	16.3% (1999年)	20%以上	石川	今後調査		岡山	8.7% (1999年)	20%以上
青森	18.2%	20%以上	福井	18.2% (1996年)	40%以上	広島	36.2% (2000年)	40%以上
岩手	11.8% (1999年)	20%以上	山梨	6.0% (1998年)	15%以上	山口	13.6%	
宮城	18.9% (2000年)	20%以上	長野	4.5% (1998年)	20%以上	徳島		
秋田	追加調査		岐阜	27.6% (1999年)	30%以上	香川	28.3% (2000年)	35%以上
山形	14.6% (1995年)	25%以上	静岡	14.2% (1997年)	20%以上	愛媛		増加
福島	11.8% (1997年)	20%以上	愛知	9.4% (1998年)	32%以上	高知	30.7% (2001年)	40%以上
茨城	26.8% (2001年)		三重	21.4% (1999年)	43%以上	福岡	14.1% (1999年)	20%以上
栃木	23.0% (2001年)		滋賀	26.2% (1999年)		佐賀	25.6% (1999年)	30%以上
群馬	21.0% (2000年)	30%以上	京都			長崎	17.0%	34%以上
埼玉		20%以上	大阪	36.5% (2000年)	20%以上	熊本	21.3% (2001年)	20%以上
千葉	15.6% (2000年)	20%以上	兵庫		20%以上	大分	11.4% (2000年)	20%以上
東京	27.0% (1999年)	30%以上	奈良			宮崎	17.3% (1998年)	20%以上
神奈川	15.5% (1998年)	30%以上	和歌山		20%以上	鹿児島	12.0% (2000年)	20%以上
新潟	21.0% (1999年)	30%以上	鳥取	22.2%	30%以上	沖縄	14.3% (1998年)	20%以上

	現状値	目標値	差
n	37	36	33
平均値	19.0%	25.7%	7.6%
中央値	18.2%	20.0%	7.8%
最大値	36.5%	43.0%	22.6%
90%タイル	27.9%	37.5%	16.7%
75%タイル	23.3%	30.0%	9.3%
中央値	18.2%	20.0%	7.8%
25%タイル	14.1%	20.0%	3.8%
10%タイル	10.6%	20.0%	1.9%
最小値	4.5%	15.0%	-16.5%
国の数値より			
高い	24	16	-
一致	0	19	-
低い	13	1	-

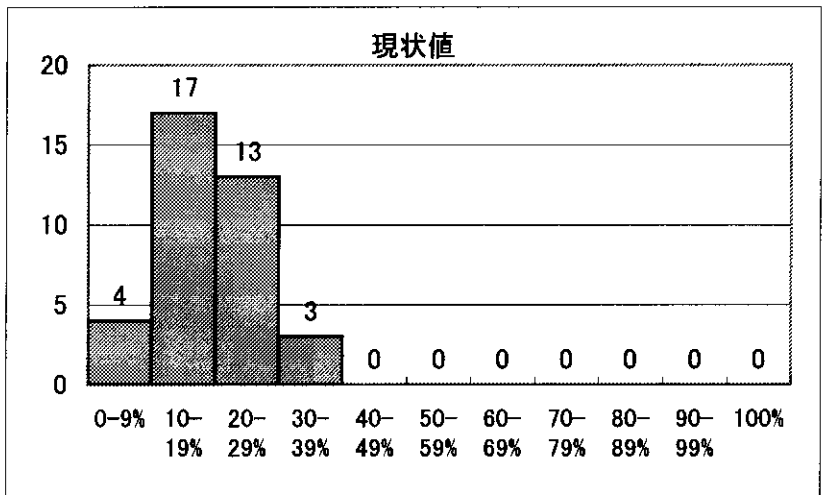


図1-1 現状値の度数分布

-%	現状値	目標値	差
0-9%	4	0	23
10-19%	17	1	5
20-29%	13	20	3
30-39%	3	11	0
40-49%	0	4	0
50-59%	0	0	0
60-69%	0	0	0
70-79%	0	0	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	37	36	32

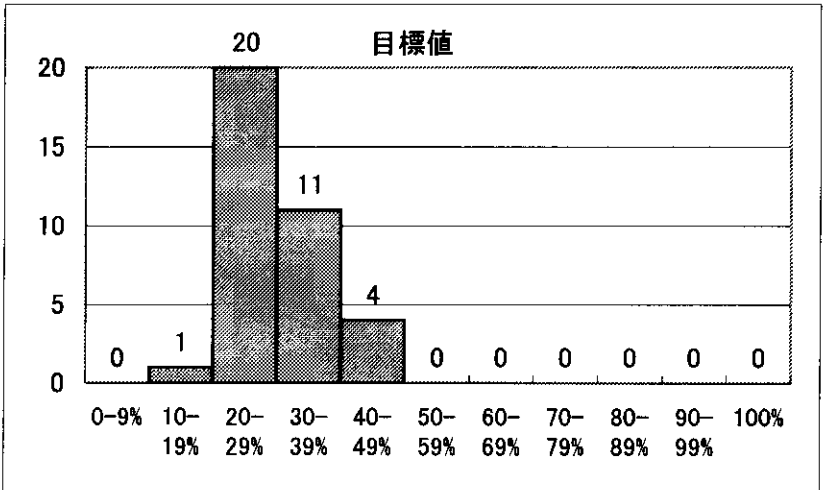


図1-2 目標値の度数分布

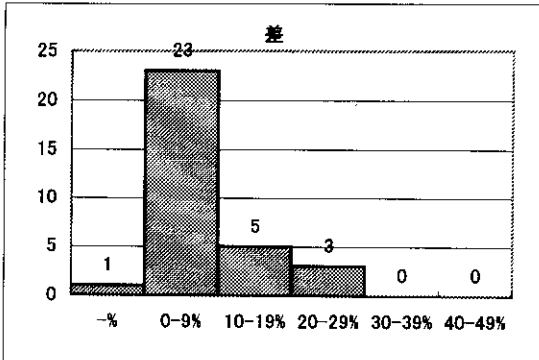


図1-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 目標1-1
 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合
 20%以上

表2 地方計画における「60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	53.2% (1999年)	50%以上	富山	56.3% (1999年)	60%以上	島根	15本 (1999年)	22本以上
北海道	33.5% (1993年)	50%以上	石川			岡山	20.5% (1999年)	40%以上
青森	40.3%	50%以上	福井	42.7% (1996年)		広島	62.3% (2000年)	70%以上
岩手	42.0% (1999年)	50%以上	山梨	34.4% (1998年)	45%以上	山口		
宮城			長野	33.0% (1998年)	50%以上	徳島	48.0% (1998年)	50%以上
秋田	35.4% (2001年)		岐阜	55.6% (1999年)	65%以上	香川	58.5% (2000年)	70%以上
山形	46.1% (1995年)	55%以上	静岡			愛媛		増加
福島	43.8% (1997年)	50%以上	愛知			高知	55.1% (2001年)	60%以上
茨城	55.2% (2001年)		三重			福岡		
栃木	50.9% (2001年)		滋賀	32.1% (1999年)	50%以上	佐賀	43.1% (1999年)	50%以上
群馬	54.5% (2000年)	60%以上	京都	46.0% (2000年)	50%以上	長崎		増加
埼玉		50%以上	大阪	57.2% (2000年)	50%以上	熊本	53.8% (2001年)	50%以上
千葉	39.8% (2000年)	50%以上	兵庫		50%以上	大分	47.6% (2000年)	55%以上
東京	55.2% (1999年)	65%以上	奈良	50.4% (2000年)	50%以上	宮崎	33.2% (1998年)	40%以上
神奈川			和歌山		50%以上	鹿児島	35.0% (2000年)	50%以上
新潟	65.0% (1999年)	75%以上	鳥取	48.5% (2000年)	55%以上	沖縄	34.5% (1998年)	45%以上

	現状値	目標値	差
n	33	32	29
平均値	45.7%	53.4%	8.1%
中央値	46.1%	50.0%	8.0%
最大値	65.0%	75.0%	19.5%
90%タイル	57.0%	65.0%	16.6%
75%タイル	55.1%	56.3%	10.5%
中央値	46.1%	50.0%	8.0%
25%タイル	35.4%	50.0%	5.5%
10%タイル	33.3%	45.5%	1.5%
最小値	20.5%	40.0%	-7.2%
国の数値より			
高い	11	11	-
一致	0	17	-
低い	22	4	-

	現状値	目標値	差
-%			3
0-9%	0	0	16
10-19%	0	0	10
20-29%	1	0	0
30-39%	9	0	0
40-49%	10	4	0
50-59%	11	20	0
60-69%	2	5	0
70-79%	0	3	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	33	32	29

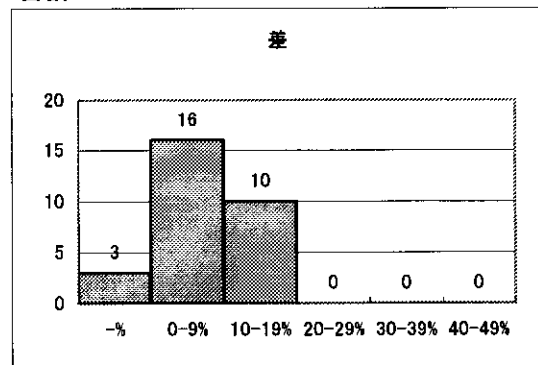


図2-3 差(目標値-現状値)の度数分布

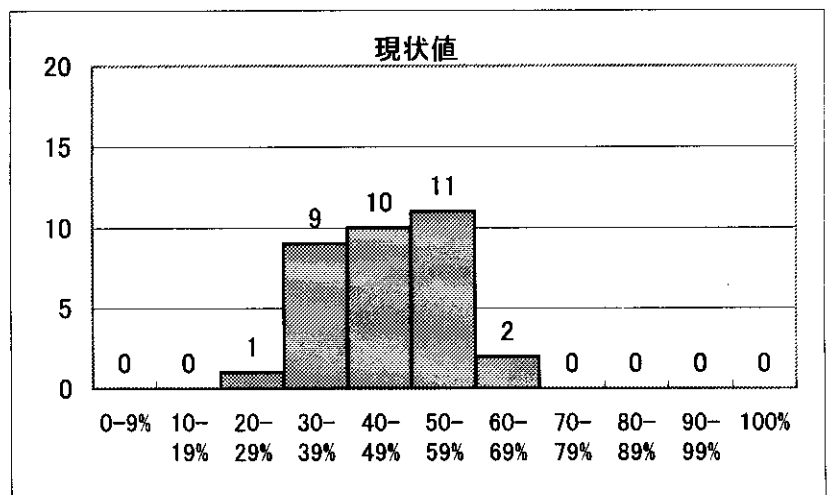


図2-1 現状値の度数分布

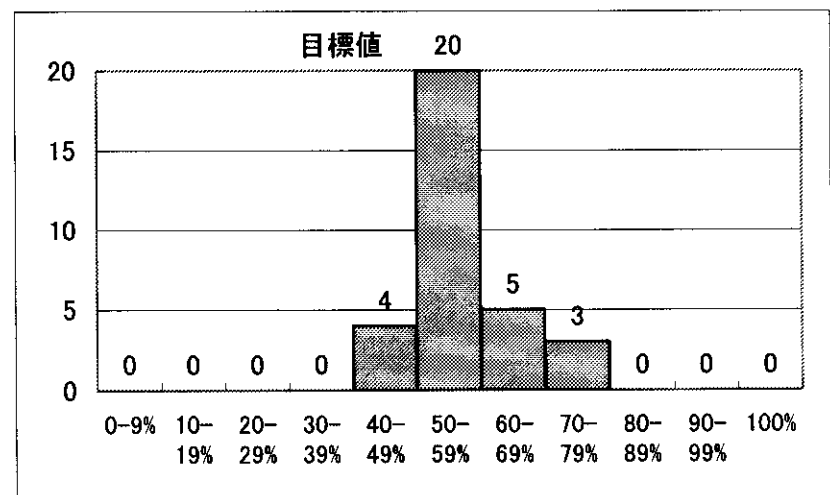


図2-2 目標値の度数分布

健康日本21・歯の健康

目標1-2

60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合

50%以上

表3 地方計画における「3歳児におけるう歯のない者の割合」の現状値および目標値

	目標値			現状値(調査年)		目標値			現状値(調査年)		目標値	
国	66.3%	(2001年)	80%以上	富山	62.0%	(2001年)	70%以上	島根	62.9%	(2001年)	70%以上	
北海道	64.8%	(2001年)	80%以上	石川	66.8%	(2001年)	70%以上	岡山	65.5%	(2001年)	70%以上	
青森	49.3%	(2001年)	70%以上	福井	68.5%	(2001年)		広島	71.4%	(2001年)	80%以上	
岩手	57.6%	(2001年)	70%以上	山梨	60.7%	(2001年)	70%以上	山口	69.7%	(2001年)	80%以上	
宮城	0.5本	(1999年)	1本以下	長野	68.5%	(2001年)	80%以上	徳島	57.0%	(2001年)	60%以上	
秋田	50.9%	(2001年)	70%以上	岐阜	73.9%	(2001年)	90%以上	香川	59.6%	(2001年)	80%以上	
山形	52.5%	(2001年)	80%以上	静岡	73.7%	(2001年)	80%以上	愛媛	64.9%	(2001年)	80%以上	
福島	54.0%	(2001年)	70%以上	愛知	74.6%	(2001年)	90%以上	高知	63.0%	(2001年)	80%以上	
茨城	61.0%	(2001年)	75%以上	三重	63.5%	(2001年)	78%以上	福岡	67.8%	(2001年)	80%以上	
栃木	64.3%	(2001年)	80%以上	滋賀	65.1%	(2001年)	80%以上	佐賀	50.1%	(2001年)	70%以上	
群馬	62.3%	(2001年)	80%以上	京都	69.5%	(2001年)	80%以上	長崎	54.0%	(2001年)	80%以上	
埼玉	66.5%	(2001年)	80%以上	大阪	64.9%	(2001年)	80%以上	熊本	58.9%	(2001年)	80%以上	
千葉	60.2%	(2001年)	80%以上	兵庫	74.5%	(2001年)	80%以上	大分	55.1%	(2001年)	67%以上	
東京	76.1%	(2001年)	90%以上	奈良	62.5%	(2001年)	80%以上	宮崎	47.8%	(2001年)	80%以上	
神奈川	75.3%	(2001年)	80%以上	和歌山	59.1%	(2001年)	70%以上	鹿児島	55.6%	(2001年)	72%以上	
新潟	0.7本	(1999年)	1本以下	鳥取	69.0%	(2001年)	85%以上	沖縄	46.7%	(2001年)	70%以上	

	現状値	目標値	差
n	44	44	43
平均値	62.6%	77.0%	14.6%
中央値	62.9%	80.0%	15.1%
最大値	76.1%	90.0%	32.2%
90%タイル	73.8%	80.0%	21.0%
75%タイル	67.9%	80.0%	17.6%
中央値	62.9%	80.0%	15.1%
25%タイル	57.4%	70.0%	10.7%
10%タイル	51.4%	70.0%	5.7%
最小値	46.7%	60.0%	3.0%
国の数値より			
高い	30	4	—
一致	0	23	—
低い	14	17	—

	現状値	目標値	差
—%			0
0-9%	0	0	9
10-19%	0	0	27
20-29%	0	0	6
30-39%	0	0	1
40-49%	3	0	0
50-59%	12	0	0
60-69%	21	2	0
70-79%	7	14	0
80-89%	0	24	0
90-99%	0	3	0
100%	0	0	0
合計	43	43	43

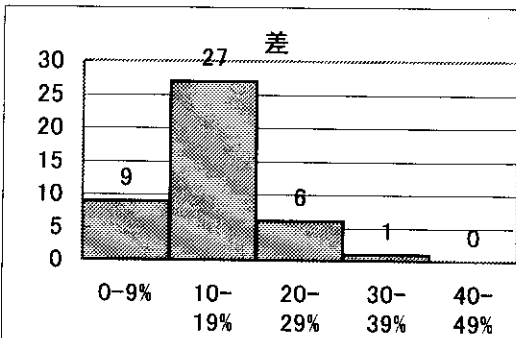


図3-3 差(目標値-現状値)の度数分布

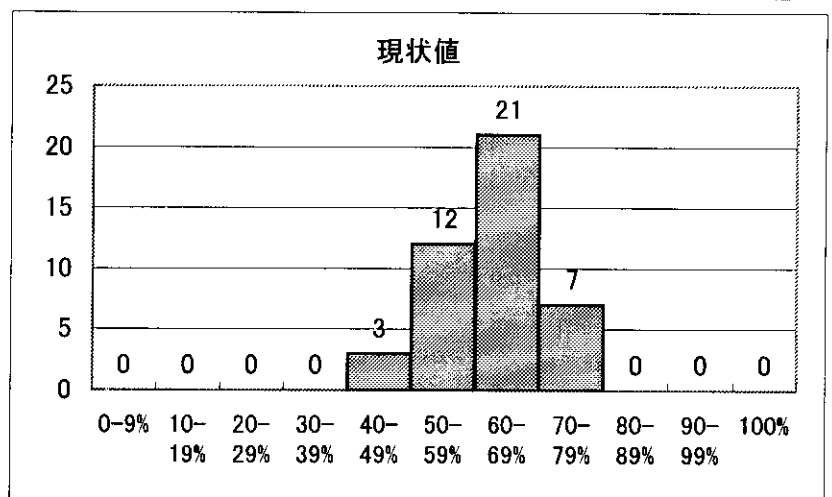


図3-1 現状値の度数分布

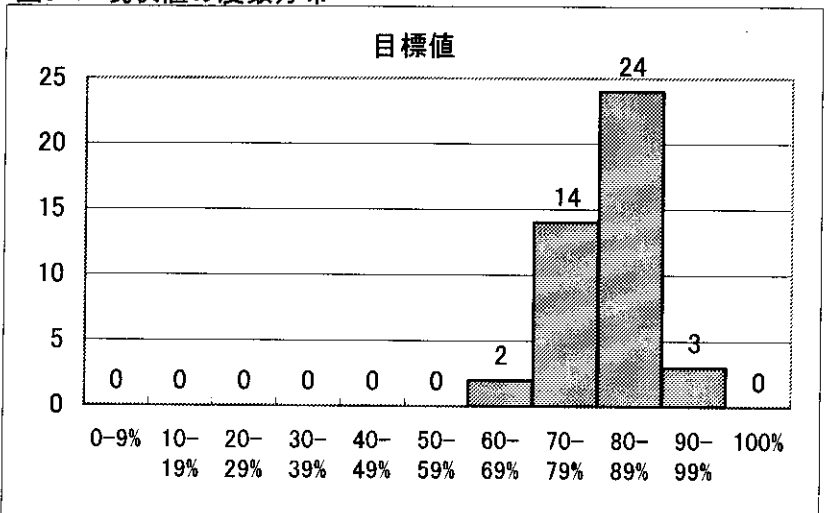


図3-2 目標値の度数分布

健康日本21・歯の健康

目標2

3歳児におけるう歯のない者の割合

80%以上

表4 地方計画における「12歳児における1人平均う歯数」の現状値および目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	2.9本 (1998年)	1.0本以下	富山	2.6本 (2000年)	1.0本以下	島根	3.0本 (1997年)	2.0本以下
北海道	3.1本 (1993年)	1.0本以下	石川			岡山	2.6本 (1999年)	1.0本以下
青森	3.1本	1.5本以下	福井	3.5本 (1996年)	3.0本以下	広島	2.2本 (2000年)	1.0本以下
岩手	3.0本 (1999年)	1.5本以下	山梨	3.5本 (1998年)	2.0本以下	山口	2.7本	1.0本以下
宮城			長野	2.3本 (2000年)	1.0本以下	徳島		2.2本以下
秋田	3.9本 (1999年)	2.0本以下	岐阜	2.6本 (2000年)	1.0本以下	香川	2.5本	1.0本以下
山形	2.3本	1.0本以下	静岡	2.4本 (2000年)	1.0本以下	愛媛	2.6本	2.0本以下
福島	3.1本 (2000年)	2.0本以下	愛知	2.7本 (1999年)	1.0本以下	高知	3.6本 (2000年)	1.0本以下
茨城	3.3本 (1999年)	1.5本以下	三重	3.4本	1.0本以下	福岡	2.9本 (2000年)	1.0本以下
栃木	3.3本 (1999年)	1.0本以下	滋賀	2.8本 (1999年)	1.0本以下	佐賀	3.3本 (1999年)	1.6本以下
群馬	2.9本 (2000年)	1.0本以下	京都	2.4本	1.0本以下	長崎	3.5本	2.0本以下
埼玉	2.9本 (1999年)	1.0本以下	大阪	2.8本	1.0本以下	熊本	3.7本 (1998年)	1.0本以下
千葉	2.3本 (2000年)	1.0本以下	兵庫	2.7本	1.0本以下	大分		
東京	2.6本 (1999年)	1.3本以下	奈良		1.0本以下	宮崎	3.5本	1.0本以下
神奈川	2.8本	1.4本以下	和歌山	2.9本 (1999年)	1.0本以下	鹿児島	3.6本 (2000年)	1.4本以下
新潟	1.8本 (1999年)	1.0本以下	鳥取	2.4本	1.0本以下	沖縄	4.7本	2.0本以下

	現状値	目標値	差
n	42	44	42
平均値	2.95	1.30	1.66
中央値	2.90	1.00	1.62
最大値	4.70	3.00	2.70
90%タイル	3.59	2.00	2.43
75%タイル	3.32	1.50	1.90
中央値	2.90	1.00	1.62
25%タイル	2.60	1.00	1.40
10%タイル	2.31	1.00	1.11
最小値	1.80	1.00	0.50
国の数値より			
高い	18	16	—
一致	4	28	—
低い	20	0	—

	現状値	目標値	差
-			0
0-0.4	0	0	0
0.5-0.9	0	0	4
1.0-1.4	0	31	12
1.5-1.9	1	4	18
2.0-2.4	7	8	5
2.5-3.0	17	0	3
3.0-3.4	9	1	0
3.5-3.9	6	0	0
4.0-4.4	0	0	0
4.5-4.9	1	0	0
5.0-5.4	0	0	0
合計	41	44	42

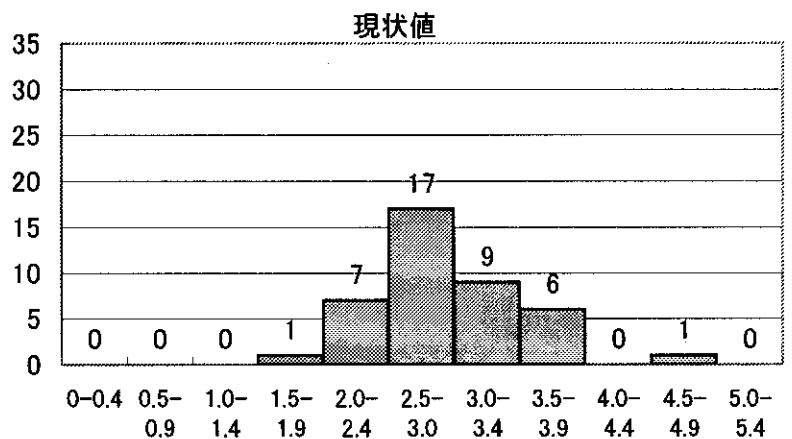


図4-1 現状値の度数分布

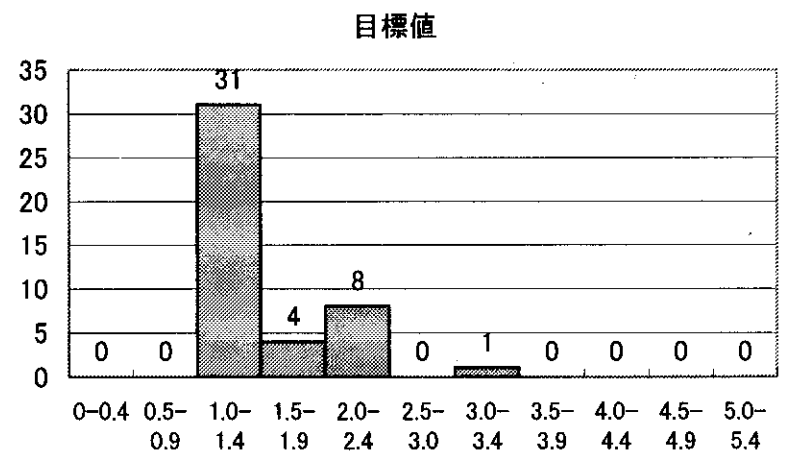


図4-2 目標値の度数分布

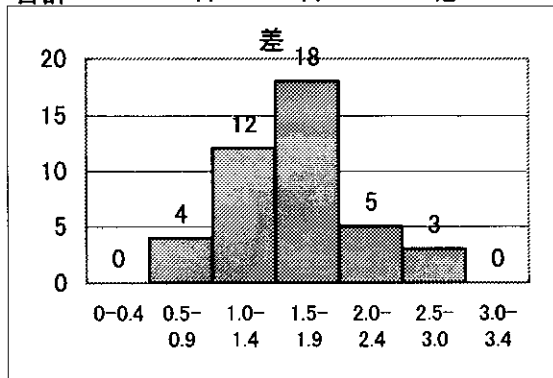


図4-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
目標3
12歳児における1人平均う歯数

1本以下

表5 地方計画における「40歳における進行した歯周炎に罹患している者[#]の割合」の現状値および目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	31.5% (1999年)	22%以下	富山	36.9% (1999年)	30%以下	島根		
北海道	39.8% (1993年)	30%以下	石川			岡山	45.8% (1999年)	20%以下
青森	36.4%	25%以下	福井			広島	37.3% (2000年)	30%以下
岩手	38.4% (1999年)	26%以下	山梨			山口		
宮城			長野	63.3% (1998年)	44%以下	徳島		
秋田	今後調査		岐阜	42.4% (2000年)	30%以下	香川		
山形	43.3%	25%以下	静岡	40.4% (1997年)	22%以下	愛媛	今後調査	
福島	38.1% (1999年)	25%以下	愛知	21.0% (1999年)	10%以下	高知	53.2% (2001年)	40%以下
茨城	今後調査		三重	20.8% (1999年)	10%以下	福岡	53.6% (1999年)	38%以下
栃木			滋賀			佐賀	32.7% (1999年)	20%以下
群馬	31.2% (2000年)	22%以下	京都	53.1% (2000年)		長崎		
埼玉		30%以下	大阪		22%以下	熊本	今後調査	
千葉	30.4% (2000年)	20%以下	兵庫		22%以下	大分	51.1% (1995年)	35%以下
東京	31.7% (1999年)	20%以下	奈良			宮崎	47.5% (1998年)	30%以下
神奈川	32.0%	25%以下	和歌山	56.0%	39%以下	鹿児島	47.2% (2000年)	33%以下
新潟	31.0% (1999年)	25%以下	鳥取	31.2%	20%以下	沖縄		

(4mm以上の歯周ポケットを有する者)

	現状値	目標値	差
n	27	29	26
平均値	40.2%	26.5%	13.0%
中央値	38.4%	25.0%	12.4%
最大値	63.3%	44.3%	25.8%
90%タイル	53.4%	38.2%	18.4%
75%タイル	47.4%	30.0%	16.0%
中央値	38.4%	25.0%	12.4%
25%タイル	31.9%	22.0%	10.5%
10%タイル	30.8%	20.0%	7.2%
最小値	20.8%	10.0%	6.0%
国の数値より			
高い	19	18	-
一致	1	4	-
低い	7	7	-

	現状値	目標値	差
-%			0
0-9%	0	0	6
10-19%	0	2	19
20-29%	2	14	1
30-39%	12	10	0
40-49%	6	2	0
50-59%	5	0	0
60-69%	1	0	0
70-79%	0	0	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	26	28	26

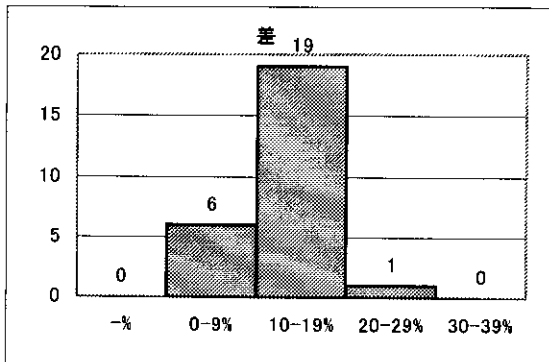


図5-3 差(目標値-現状値)の度数分布

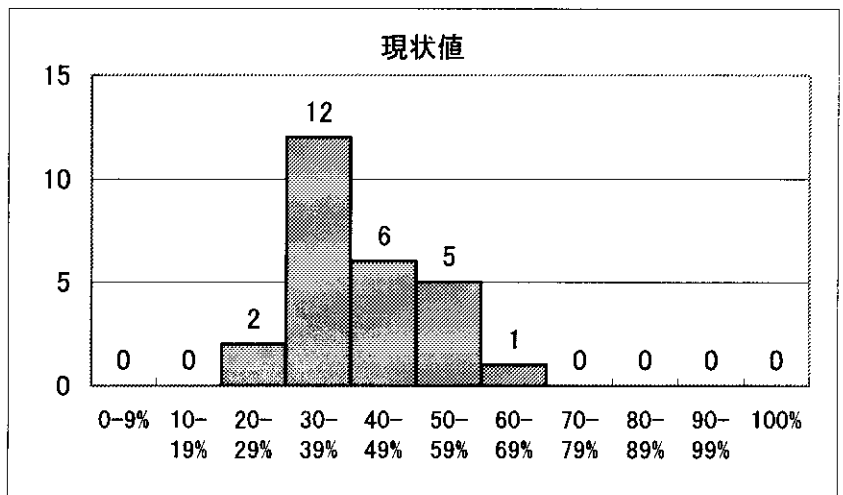


図5-1 現状値の度数分布

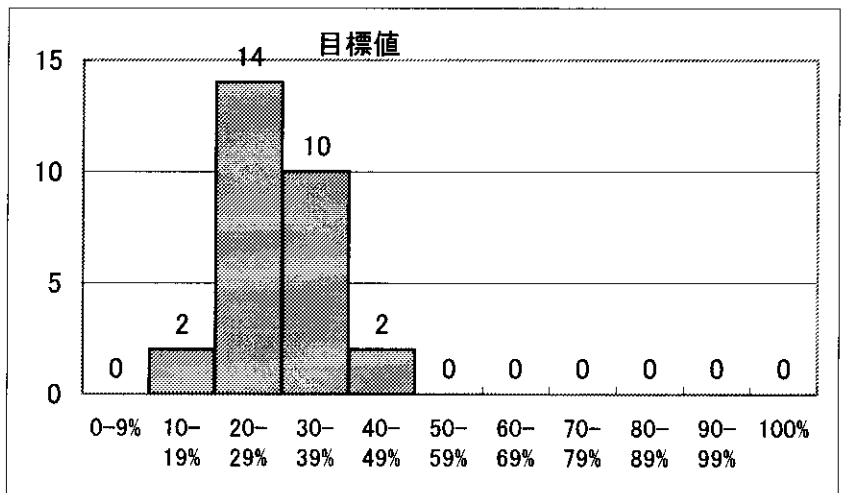


図5-2 目標値の度数分布

健康日本21・歯の健康

目標4-1

40歳における進行した歯周炎に罹患している者の割合
3割以上の減少
(22%以下)

表6 地方計画における「50歳における進行した歯周炎に罹患している者[#]の割合」の現状値および目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	47.6% (1999年)	33%以下	富山	36.9% (1999年)	30%以下	島根		
北海道	46.0% (1993年)	35%以下	石川			岡山		
青森	45.5%	31%以下	福井			広島	54.2% (2000年)	40%以下
岩手	38.4% (1999年)	34%以下	山梨			山口		
宮城			長野	76.2% (1998年)	53%以下	徳島		
秋田	今後調査		岐阜	56.5% (2000年)	40%以下	香川		
山形	65.6%	40%以下	静岡	60.7% (1997年)	33%以下	愛媛	今後調査	
福島	51.5% (1999年)	35%以下	愛知	32.0% (1999年)	16%以下	高知	53.2% (2001年)	40%以下
茨城	今後調査		三重	28.0% (1999年)	14%以下	福岡		
栃木	25.6%	18%以下	滋賀			佐賀	45.0% (1999年)	30%以下
群馬	40.0% (2000年)	30%以下	京都	60.8% (2000年)		長崎		
埼玉		40%以下	大阪		33%以下	熊本	今後調査	
千葉	40.5% (2000年)	30%以下	兵庫		33%以下	大分		
東京	48.9% (1999年)	30%以下	奈良			宮崎	52.5% (1998年)	40%以下
神奈川			和歌山	73.0%	51%以下	鹿児島	67.4% (2000年)	47%以下
新潟	42.0% (1999年)	35%以下	鳥取	46.5%	30%以下	沖縄	61.0%	40%以下

(4mm以上の歯周ポケットを有する者)

	現状値	目標値	差
n	25	27	24
平均値	49.9%	34.4%	15.2%
中央値	48.9%	34.0%	14.7%
最大値	76.2%	53.3%	27.7%
90%タイル	66.7%	42.8%	22.6%
75%タイル	60.7%	40.0%	19.3%
中央値	48.9%	34.0%	14.7%
25%タイル	40.5%	30.0%	10.9%
10%タイル	34.0%	25.2%	7.2%
最小値	25.6%	14.0%	4.4%
国の数値より			
高い	13	14	—
一致	0	3	—
低い	12	10	—

	現状値	目標値	差
—%			0
0-9%	0	0	4
10-19%	0	3	14
20-29%	2	0	6
30-39%	3	13	0
40-49%	7	8	0
50-59%	5	2	0
60-69%	4	0	0
70-79%	2	0	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	23	26	24

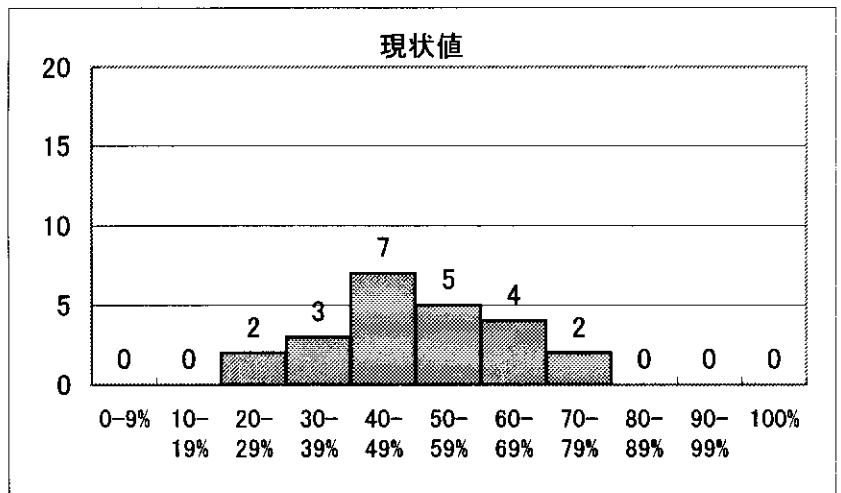


図6-1 現状値の度数分布

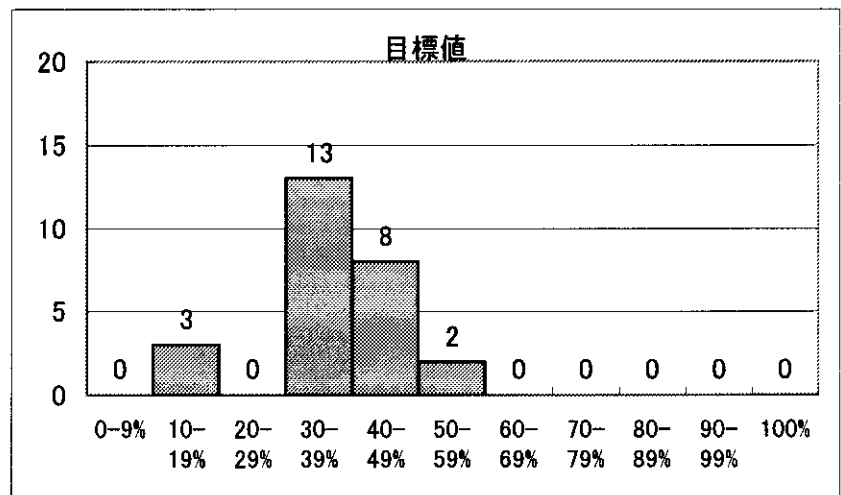


図6-2 目標値の度数分布

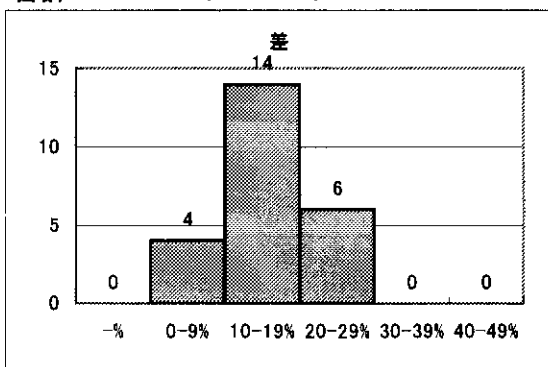


図6-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 目標4-2
 50歳における進行した歯周炎に罹患している者の割合
 3割以上の減少
 (33%以下)

表7 健康日本21地方計画における「定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合」の現状値及び目標値

国	現状値(調査年)	目標値	富山	現状値(調査年)	目標値	島根	現状値(調査年)	目標値
国	20.6% (1992年)	30%以上	富山	15.4% (1999年)	30%以上	島根		
北海道			石川			岡山		
青森			福井	11.6%		広島	44.9% (2000年)	50%以上
岩手			山梨	18.1% (1999年)	35%以上	山口	19.6%	
宮城			長野	8.3% (1998年)	30%以上	徳島	41.5%	
秋田	20.7%	70%以上	岐阜	27.2%		香川		
山形	14.6%	25%以上	静岡			愛媛	35.1%	45.1%以上
福島	17.1%	25%以上	愛知			高知	61.6%	
茨城			三重			福岡		
栃木	17.5%		滋賀			佐賀		
群馬	7.8% (2000年)	30%以上	京都		50%以上	長崎		30%以上
埼玉			大阪	15.9% (1992年)	30%以上	熊本	42.3% (2001年)	
千葉	39.2% (2000年)	60%以上	兵庫	20.6% (1997年)	30%以上	大分		
東京	39.6% (1999年)	60%以上	奈良	44.3%		宮崎		
神奈川			和歌山	8.3% (1999年)	30%以上	鹿児島	20.8% (2000年)	40%以上
新潟	4.2% (1999年)	20%以上	鳥取	8.3%	30%以上	沖縄		

	現状値	目標値	差
n	25	19	17
平均値	24.2%	37.9%	17.7%
中央値	19.6%	30.0%	16.9%
最大値	61.6%	70.0%	49.3%
90%タイル	43.5%	60.0%	21.9%
75%タイル	39.2%	47.6%	21.7%
中央値	19.6%	30.0%	16.9%
25%タイル	14.6%	30.0%	10.4%
10%タイル	8.3%	25.0%	8.8%
最小値	4.2%	20.0%	5.1%
国の数値より			
高い	11	8	—
一致	1	8	—
低い	13	3	—

	現状値	目標値	差
0-9%	5	0	3
10-19%	8	0	7
20-29%	4	3	6
30-39%	3	9	0
40-49%	4	2	1
50-59%	0	2	0
60-69%	1	2	0
70-79%	0	1	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	25	19	17

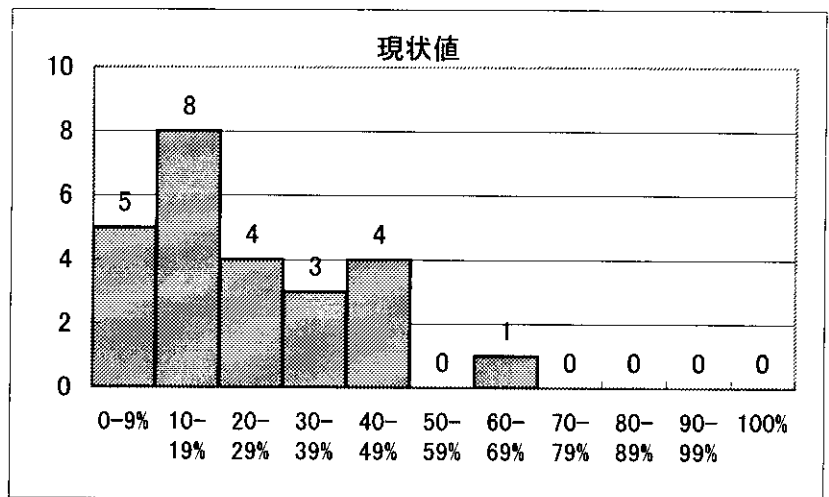


図7-1 現状値の度数分布

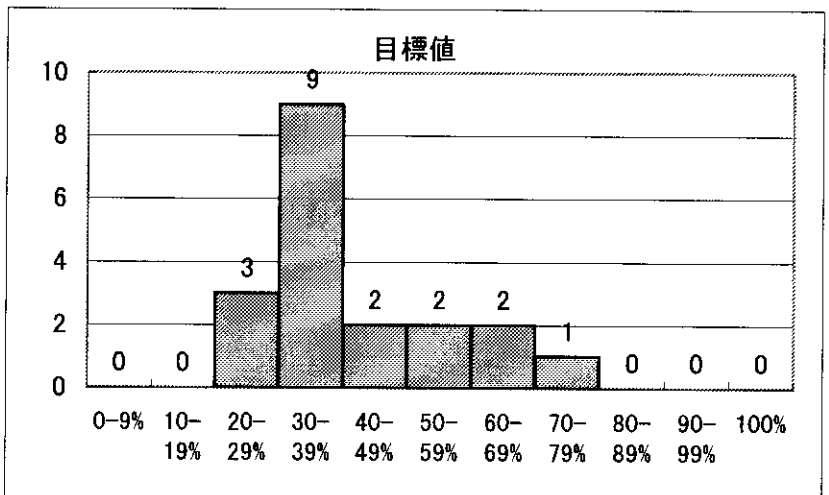


図7-2 目標値の度数分布

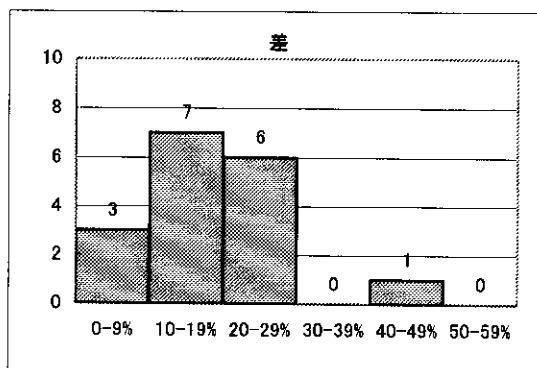


図7-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 リスク低減目標1-1
 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合
 30%以上

表8 健康日本21地方計画における「定期的に歯科検診を受けている者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	18.6% (1993年)	30%以上	富山	16.0% (1999年)	30%以上	島根		
北海道	10.4% (1999年)	30%以上	石川			岡山	38.1% (1999年)	50%以上
青森	15.6%	30%以上	福井			広島	59.6% (2000年)	70%以上
岩手	15.5% (1999年)	30%以上	山梨	19.5% (1999年)	35%以上	山口	17.8%	30%以上
宮城	42.0%	70%以上	長野	12.6% (1998年)	30%以上	徳島	7.0% (1998年)	50%以上
秋田	38.0%	100%	岐阜	43.3% (2000年)	60%以上	香川	31.7%	40%以上
山形	46.1%	55%以上	静岡	17.0% (1997年)	30%以上	愛媛	49.8%	59.8%
福島	17.2%	25%以上	愛知	13.8% (2000年)	27%以上	高知	17.0% (2001年)	30%以上
茨城	10.2%	30%以上	三重	33.8% (1999年)	68%以上	福岡	6.2% (2000年)	12%以上
栃木			滋賀	8.5% (1999年)	30%以上	佐賀	19.3%	
群馬	7.8% (2000年)	30%以上	京都	19.8% (2000年)	30%以上	長崎		
埼玉	34.8% (2000年)	50%以上	大阪		30%以上	熊本	29.2% (2001年)	
千葉	38.8% (2000年)	60%以上	兵庫		30%以上	大分	15.8% (2000年)	30%以上
東京	39.6% (1999年)	60%以上	奈良	53.9%	80%以上	宮崎	7.2% (1998年)	30%以上
神奈川			和歌山	5.9%	30%以上	鹿児島	11.9% (2000年)	40%以上
新潟			鳥取	9.3%	30%以上	沖縄	28.0%	40%以上

	現状値	目標値	差
n	38	38	36
平均値	23.9%	41.9%	18.7%
中央値	17.5%	30.0%	15.4%
最大値	59.6%	100.0%	62.0%
90%タイル	44.1%	68.6%	28.1%
75%タイル	37.2%	53.8%	21.7%
中央値	17.5%	30.0%	15.4%
25%タイル	12.1%	30.0%	12.2%
10%タイル	7.6%	30.0%	9.5%
最小値	5.9%	12.0%	5.8%
国の数値より			
高い	18	17	—
一致	0	18	—
低い	20	3	—

	現状値	目標値	差
0-9%	7	0	4
10-19%	16	1	19
20-29%	2	2	10
30-39%	7	19	1
40-49%	4	3	1
50-59%	2	5	0
60-69%	0	4	1
70-79%	0	2	0
80-89%	0	1	0
90-99%	0	0	0
100%	0	1	0
合計	38	38	36

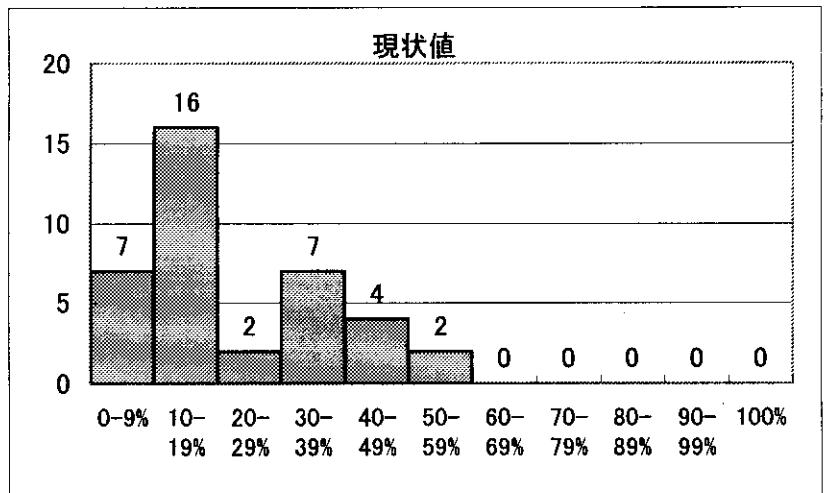


図8-1 現状値の度数分布

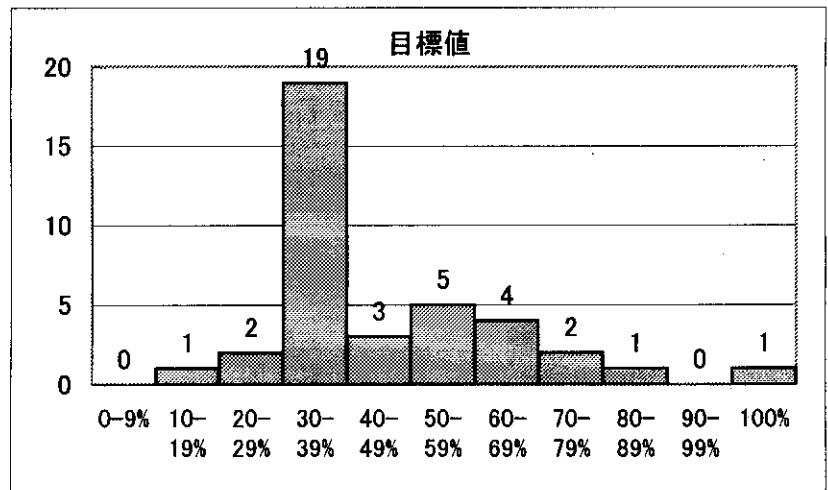


図8-2 目標値の度数分布

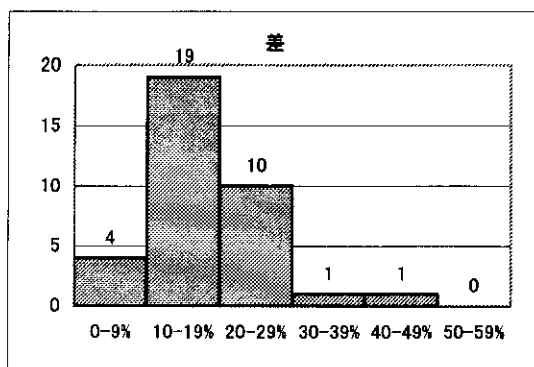


図8-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
リスク低減目標1-2
定期的に歯科検診を受けている者の割合

30%以上

表9 健康日本21地方計画における「3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	52.3% (1993年)	50%以上	富山	41.4% (1999年)	50%以上	島根		
北海道	32.4%	40%以上	石川			岡山	32.0% (1999年)	50%以上
青森	29.0%	40%以上	福井			広島		50%以上
岩手	(1993年)	50%以上	山梨	19.5% (1999年)	30%以上	山口	今後調査	
宮城			長野	今後調査		徳島		
秋田	今後調査		岐阜			香川	今後調査	
山形			静岡	今後調査		愛媛	33.9%	50.0%
福島			愛知	52.8% (1998年)	85%以上	高知	20.2% (2001年)	50%以上
茨城		50%以上	三重	33.3% (1999年)	67%以上	福岡	52.3% (1999年)	60%以上
栃木			滋賀	23.0% (1999年)	40%以上	佐賀		
群馬	今後調査	70%以上	京都			長崎		60%以上
埼玉	(1999年)	50%以上	大阪		50%以上	熊本		
千葉	35.0% (2000年)	60%以上	兵庫		50%以上	大分		
東京			奈良			宮崎		
神奈川			和歌山		50%以上	鹿児島	84.0% (2000年)	94%以上
新潟	52.0% (1999年)	70%以上	鳥取	16.2%	50%以上	沖縄	51.4%	70%以上

	現状値	目標値	差
n	16	25	16
平均値	38.0%	55.4%	18.6%
中央値	33.6%	50.0%	17.5%
最大値	84.0%	94.0%	33.8%
90%タイル	52.6%	70.0%	33.0%
75%タイル	51.6%	60.0%	26.2%
中央値	33.6%	50.0%	17.5%
25%タイル	27.5%	50.0%	10.4%
10%タイル	19.9%	40.0%	8.2%
最小値	16.2%	30.0%	7.6%
国の数値より			
高い	2	9	—
一致	1	12	—
低い	13	4	—

	現状値	目標値	差
0-9%	0	0	3
10-19%	2	0	8
20-29%	3	0	2
30-39%	5	1	3
40-49%	1	3	0
50-59%	4	12	0
60-69%	0	4	0
70-79%	0	3	0
80-89%	1	1	0
90-99%	0	1	0
100%	0	0	0
合計	16	25	16

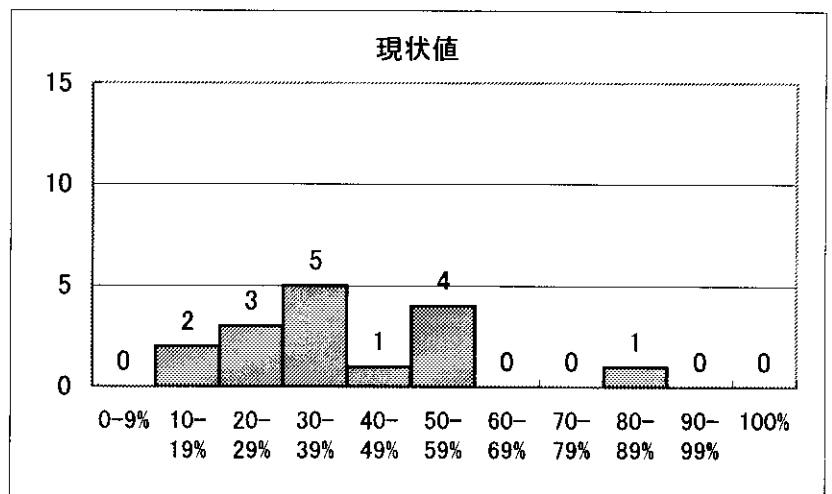


図9-1 現状値の度数分布

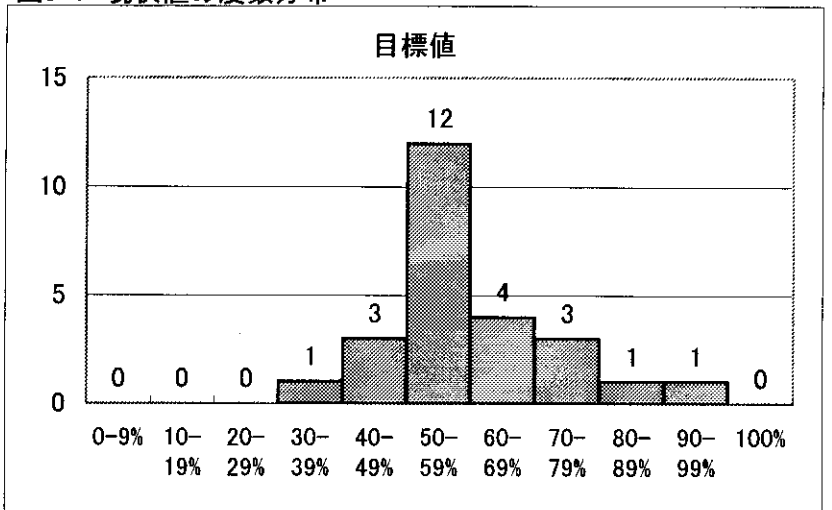


図9-2 目標値の度数分布

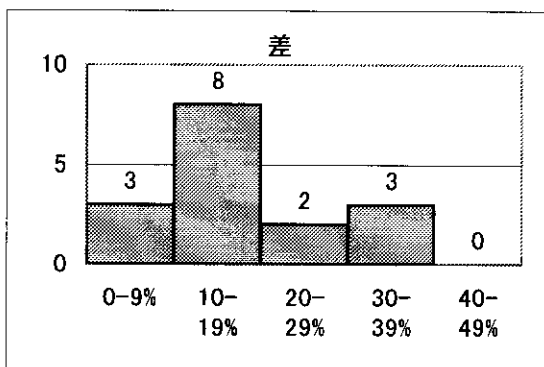


図9-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 リスク低減目標2-1
 3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合
 50%以上

表10 健康日本21地方計画における「間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	29.9% (1991年)		富山	65.4% (2000年)	50%以下	島根		
北海道	38.1%	38.1%以下	石川			岡山	58.5% (1999年)	30%以下
青森	今後調査		福井			広島		
岩手	26.3%	10%以下	山梨	今後調査		山口		
宮城			長野	今後調査		徳島		
秋田	今後調査		岐阜			香川		
山形	30.7%	15%以下	静岡	33.9% (1995年)		愛媛	39.6%	30%以下
福島			愛知	16.0% (1999年)	8%以下	高知	7.2% (2000年)	0%以下
茨城			三重			福岡		
栃木			滋賀	13.0% (1999年)	5%以下	佐賀		
群馬	今後調査	20%以下	京都			長崎		
埼玉			大阪	39.2% (1998年)		熊本	今後調査	
千葉	14.9% (2000年)		兵庫			大分		
東京			奈良			宮崎		
神奈川			和歌山			鹿児島	40.6% (2000年)	36%以下
新潟			鳥取	8.7%		沖縄	23.4%	10%以下

	現状値	目標値	差
n	15	12	11
平均値	30.4%	21.0%	11.5%
中央値	30.7%	17.5%	9.6%
最大値	65.4%	50.0%	28.5%
90%タイル	51.3%	37.9%	16.3%
75%タイル	39.4%	31.5%	15.6%
中央値	30.7%	17.5%	9.6%
25%タイル	15.5%	9.5%	7.6%
10%タイル	10.4%	5.3%	4.6%
最小値	7.2%	0.0%	0.0%
国の数値より			
高い	8	7	—
一致	0	2	—
低い	7	3	—

	現状値	目標値	差
0%-	2	3	6
10%-	3	3	4
20%-	2	1	1
30%-	5	4	0
40%-	1	0	0
50%-	1	1	0
60%-	1	0	0
70%-	0	0	0
80%-	0	0	0
90%-	0	0	0
100%	0	0	0
合計	15	12	11

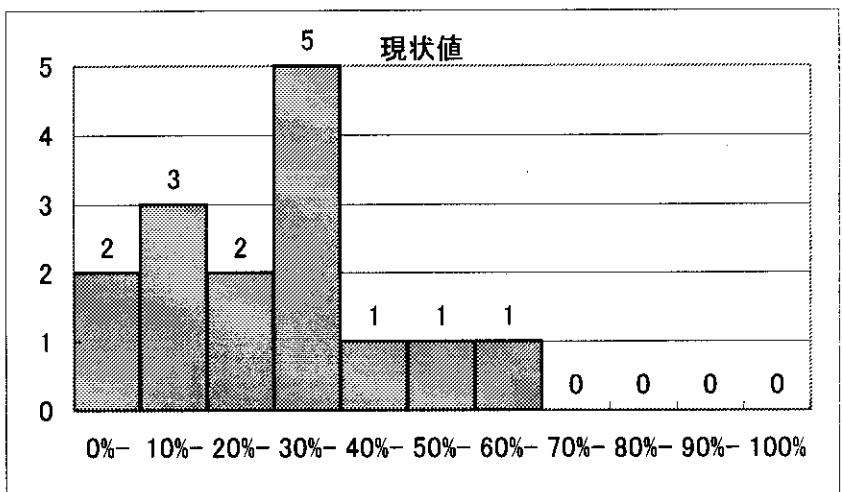


図10-1 現状値の度数分布

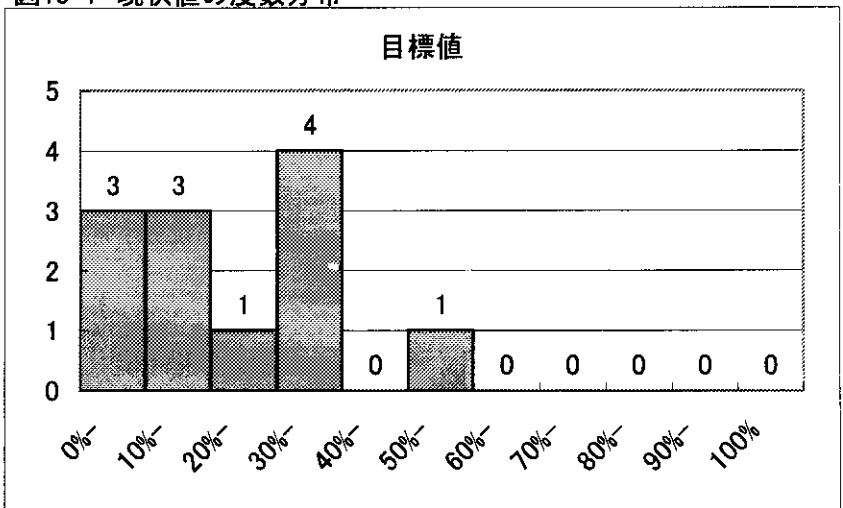


図10-2 目標値の度数分布

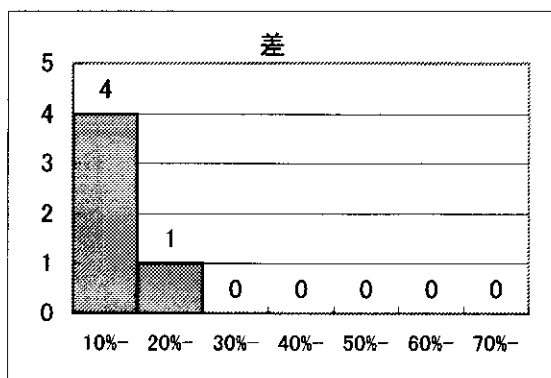


図10-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
リスク低減目標2-2
間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合

未設定

表11 健康日本21地方計画における「学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	45.6% (1991年)	90%以上	富山			島根		
北海道	54.9%	90%以上	石川			岡山	36.8% (1999年)	50%以上
青森	今後調査		福井			広島	35.3% (2000年)	90%以上
岩手			山梨		90%以上	山口		
宮城			長野	41.9% (1998年)	90%以上	徳島		
秋田	今後調査		岐阜			香川		
山形			静岡			愛媛	38.9%	50.0%
福島			愛知			高知		90%以上
茨城			三重	31.7% (1998年)	95%以上	福岡		
栃木			滋賀		90%以上	佐賀		
群馬	今後調査	90%以上	京都			長崎		90%以上
埼玉		90%以上	大阪		90%以上	熊本		
千葉	52.2% (2000年)	90%以上	兵庫	13.9% (1997年)	90%以上	大分		
東京	15.6%	90%以上	奈良			宮崎	今後調査	
神奈川			和歌山		90%以上	鹿児島	22.7%	46%以上
新潟	71.0% (1999年)	90%以上	鳥取		90%以上	沖縄	43.5%	80%以上

	現状値	目標値	差
n	12	21	12
平均値	38.2%	83.9%	41.1%
中央値	37.9%	90.0%	37.2%
最大値	71.0%	95.0%	76.1%
90%タイル	54.6%	90.0%	73.3%
75%タイル	45.7%	90.0%	56.9%
中央値	37.9%	90.0%	37.2%
25%タイル	29.5%	90.0%	22.2%
10%タイル	16.3%	50.0%	13.8%
最小値	13.9%	46.0%	11.1%
国の数値より			
高い	3	1	—
一致	0	16	—
低い	9	4	—

	現状値	目標値	差
0-9%	0	0	0
10-19%	2	0	3
20-29%	1	0	1
30-39%	4	0	3
40-49%	2	1	1
50-59%	2	2	1
60-69%	0	0	1
70-79%	1	0	2
80-89%	0	1	0
90-99%	0	17	0
100%	0	0	0
合計	12	21	12

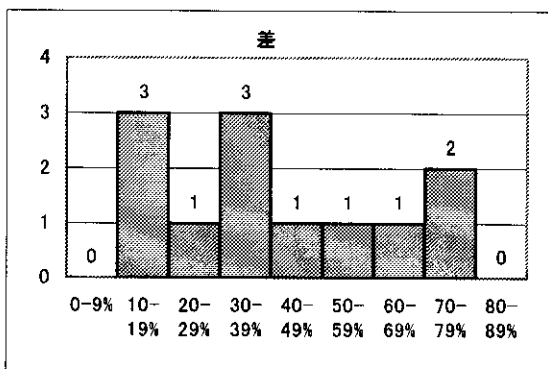


図11-3 差(目標値-現状値)の度数分布

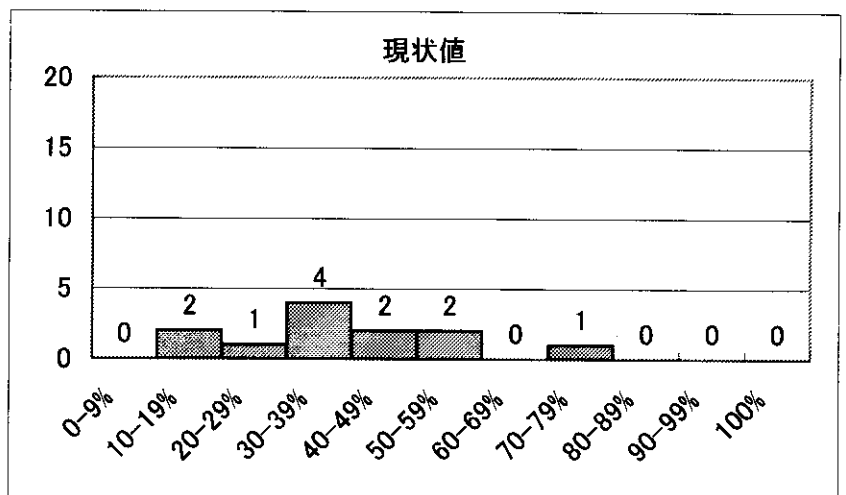


図11-1 現状値の度数分布

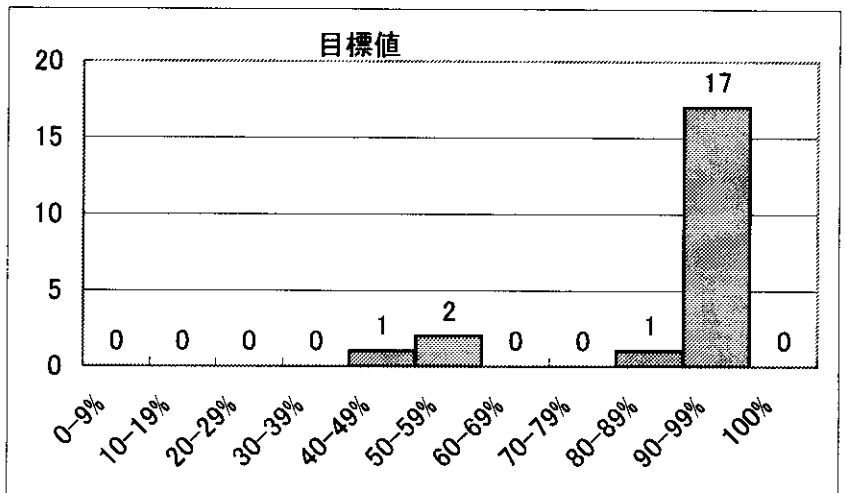


図11-2 目標値の度数分布

健康日本21-歯の健康
 リスク低減目標3-1
 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合
 90%以上

表12 健康日本21地方計画における「学童期ににおいて過去1年間に個別的歯垢清掃指導を受けたことのある者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	18.3% (1993年)	30%以上	富山	45.0% (1999年)	50%以上	島根		
北海道	29.5%	40%以上	石川			岡山	4.0% (1999年)	60%以上
青森			福井			広島	21.1% (2000年)	30%以上
岩手			山梨		30%以上	山口		
宮城			長野	今後調査		徳島		
秋田	今後調査		岐阜			香川		
山形			静岡			愛媛	20.1%	30.0%
福島			愛知			高知		
茨城			三重			福岡		
栃木			滋賀			佐賀		
群馬	今後調査	30%以上	京都			長崎		30%以上
埼玉			大阪		30%以上	熊本		
千葉	21.6% (1999年)	30%以上	兵庫		30%以上	大分		
東京			奈良			宮崎	今後調査	
神奈川			和歌山		30%以上	鹿児島	24.2%	50%以上
新潟	47.0% (1999年)	60%以上	鳥取	6.0%	30%以上	沖縄		

	現状値	目標値	差
n	9	15	9
平均値	24.3%	37.3%	17.9%
中央値	21.6%	30.0%	10.5%
最大値	47.0%	60.0%	56.0%
90%タイル	45.4%	56.0%	31.8%
75%タイル	29.5%	45.0%	24.0%
中央値	21.6%	30.0%	10.5%
25%タイル	20.1%	30.0%	8.9%
10%タイル	5.6%	30.0%	7.7%
最小値	4.0%	30.0%	5.0%
国の数値より			
高い	7	5	—
一致	0	10	—
低い	2	0	—

	現状値	目標値	差
0-9%	2	0	4
10-19%	0	0	2
20-29%	5	0	2
30-39%	0	10	0
40-49%	2	1	0
50-59%	0	2	1
60-69%	0	2	0
70-79%	0	0	0
80-89%	0	0	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	9	15	9

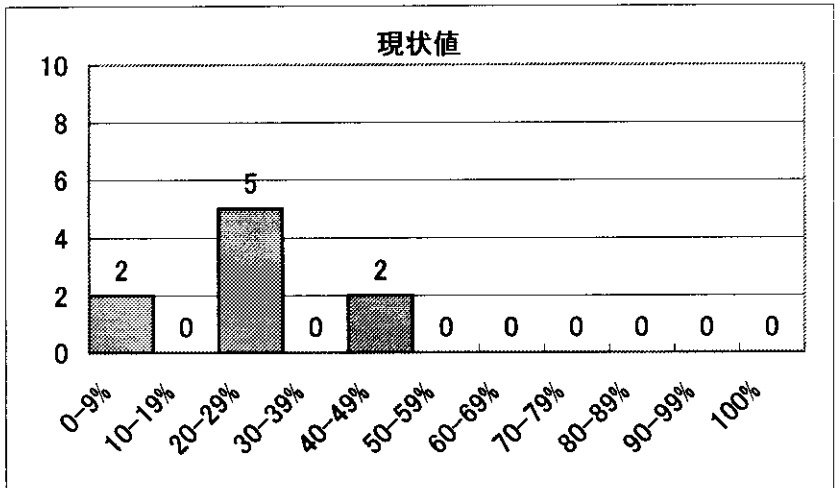


図12-1 現状値の度数分布

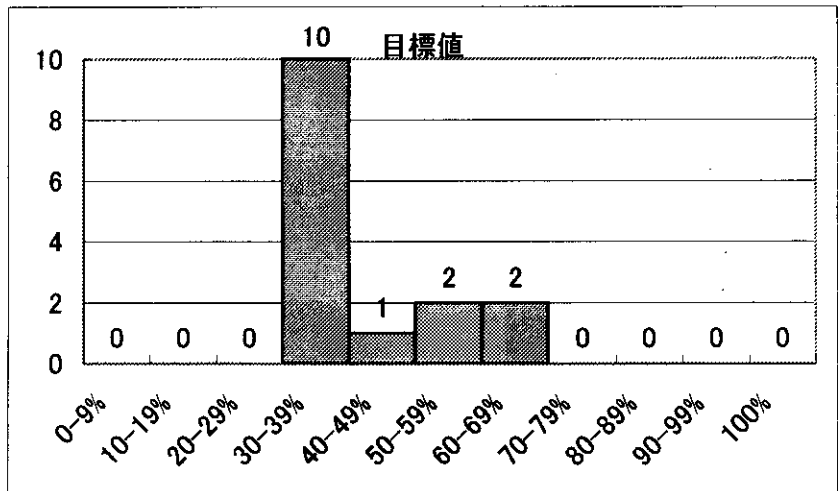


図12-2 目標値の度数分布

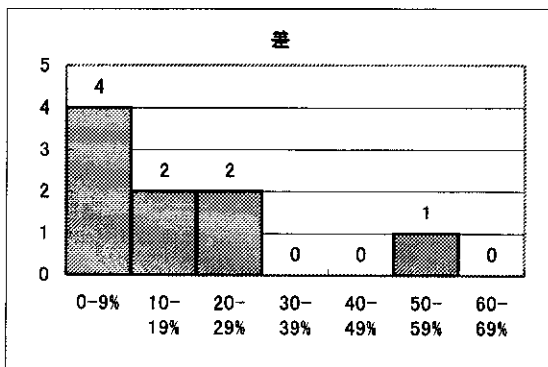


図12-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 リスク低減目標3-2
 学童期ににおいて過去1年間に個別的歯垢清掃指導を受けたことのある者の割合
 30%以上

表13 健康日本21地方計画における「40歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合」の現状値及び目標値

	現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値		現状値(調査年)	目標値
国	32.6% (1993年)	50%以上	富山	16.8% (1999年)	30%以上	島根		
北海道	19.0%	50%以上	石川			岡山		
青森	11.7%	35%以上	福井			広島	32.5% (2000年)	50%以上
岩手	26.0%	50%以上	山梨			山口		
宮城			長野			徳島		
秋田	今後調査	増加	岐阜			香川	49.5%	70%以上
山形	今後調査	50%以上	静岡	10.7% (1997年)	50%以上	愛媛	36.7%	50.0%
福島			愛知			高知	24.5% (2001年)	50%以上
茨城	10.0% (2000年)	30%以上	三重	24.4% (1999年)	73%以上	福岡		
栃木			滋賀	28.8% (1999年)	50%以上	佐賀		
群馬	31.3% (2000年)	60%以上	京都	48.0% (2000年)	60%以上	長崎		30%以上
埼玉	26.6% (2000年)	50%以上	大阪		50%以上	熊本		未設定
千葉	42.6% (2000年)	60%以上	兵庫		50%以上	大分	37.1% (2000年)	50%以上
東京	44.6% (1999年)	80%以上	奈良	31.9% (2000年)	50%以上	宮崎	19.4% (1998年)	50%以上
神奈川			和歌山	12.2% (1999年)	50%以上	鹿児島	29.2% (2000年)	60%以上
新潟	19.0%	40%以上	鳥取	17.1%	50%以上	沖縄	18.4%	50%以上

	現状値	目標値	差
n	25	29	25
平均値	26.7%	51.0%	25.2%
中央値	26.0%	50.0%	23.4%
最大値	49.5%	80.0%	48.6%
90%タイル	43.8%	62.0%	36.8%
75%タイル	32.5%	50.0%	31.0%
中央値	26.0%	50.0%	23.4%
25%タイル	18.4%	50.0%	18.1%
10%タイル	11.9%	34.0%	13.2%
最小値	10.0%	30.0%	12.0%
国の数値より			
高い	6	7	—
一致	0	17	—
低い	19	5	—

	現状値	目標値	差
0-9%	0	0	0
10-19%	10	0	7
20-29%	6	0	9
30-39%	5	4	8
40-49%	4	1	1
50-59%	0	17	0
60-69%	0	4	0
70-79%	0	2	0
80-89%	0	1	0
90-99%	0	0	0
100%	0	0	0
合計	25	29	25

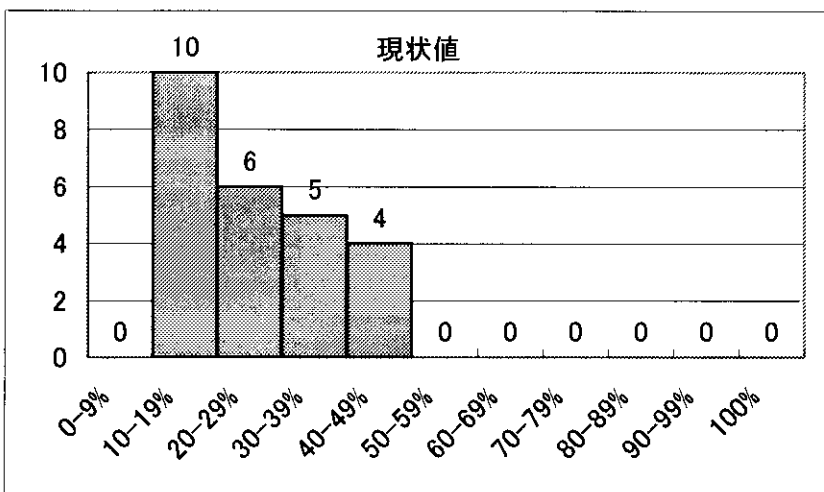


図13-1 現状値の度数分布

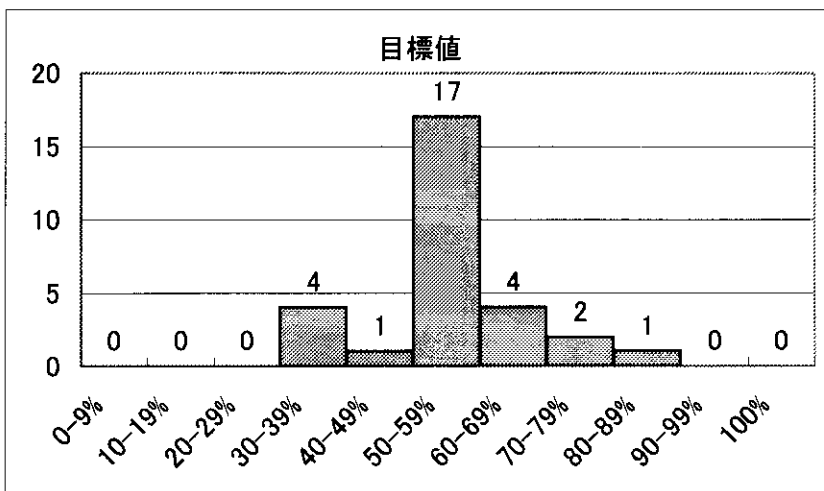


図13-2 目標値の度数分布

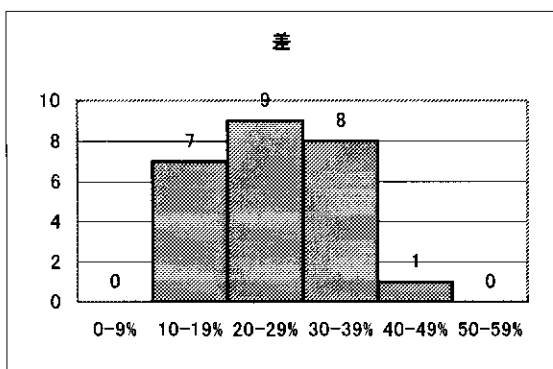


図13-3 差(目標値-現状値)の度数分布

健康日本21・歯の健康
 リスク低減目標4-1
 40歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合
 50%以上